



2025年9月25日

京都府×インドネシア・ジョグジャカルタ特別州 アジア地方行政セミナー（参加者：約200名）

京都府は世界中の7つの地域と友好提携を結んでおり、インドネシア・ジョグジャカルタ特別州とは1985年に友好関係の確立に関する協定（MOU）を締結しており、2025年に40周年を迎えた。子ども絵画交換プログラムなど、長きに渡る交流を続けている。

両自治体の共通課題として、伝統産業・文化財保護分野での交流が盛んで、同分野での職員相互派遣による技術交流や新たな工芸品開発などが行われている。こうした地域特性を生かした国際交流の取組が評価され、2010年には総務大臣賞を受賞した。最近では、ジョグジャカルタ地方の伝統菓子が日本のアニメキャラクターを使用したパッケージで発売されるなど、新たな動きも見られる。

節目の賑やかな周年イベントに加えて、今後は学生や若い世代の交流・人材育成、文化芸術・伝統産業分野での経済交流、新たに農業分野での連携など、より深化した取組が期待される。



2025年10月28日

島根県美郷町×インドネシア・マス村

インドネシア国家行政院セミナー（参加者：約800名）



美郷町は、1982年の島根県国民体育大会で当時の邑智町がカヌーの競技開催地になって以降カヌーによるまちづくりに取り組んでおり、1991年に開館したカヌー博物館に展示するカヌーの制作にあたって、インドネシア・マス村から2人の職人を招いたことをきっかけに、1993年、両自治体の交流が始まった。

両自治体は盛んに人的交流を行っており、友好訪問団の相互派遣や高校生の交換留学のほか、2019年に締結した協定に基づく技能実習生の受け入れも行っている。実習生の受け入れに関しては、マス村のみならず、同村が属するバリ州、ギャニアール県とも支援、交流推進を確認している。

美郷町では、2024年に「バリの町条例」を制定し、「バリの町室」という組織を設置、友好協定締結日である9月10日を「バリの日」と定めており、今後も、国際交流員（CIR）の活動や町内外有志によるバリ島の伝統楽器ガムランの楽団、中学生バリ訪問団など、町民と一体となった国際交流を推進していくこととしている。



4. Kegiatan Beberapa Tahun Terakhir

2022 & 2024 – Peserta Magang Teknik Iiba di kota Misato

Pada Juli 2022, 4 peserta magang Iiba di kota Misato, disusul 1 peserta lagi pada November di tahun yang sama. Selanjutnya, pada Februari 2025 datang 3 peserta, dan 3 peserta lagi datang pada April 2025.

Saat ini, menjalani program magang di fasilitas kesejahteraan lansia dan perusahaan pertanian, dengan reputasi sangat baik karena dedikasi dan etos kerja yang tinggi.

Peserta yang datang pada Juli 2022 telah menyelesaikan masa magang pada Mei, dan di antara mereka, 3 orang melanjutkan bekerja sebagai pekerja asing dengan status 'Keterampilan Khusus' (Tokutei Gino)



J.CLAIR SINGAPORE

一般財団法人自治体国際化協会（クレア）シンガポール事務所

2025年度姉妹都市セッション実績

2026年1月30日

タイ地方行政セミナーでも、姉妹都市セッションを開催予定。